

# SHA256 を有効にする プロシージャは暗号化を基づかせていました

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[質問](#)

[回答](#)

## 概要

この資料に Unified Customer Voice Portal ( CVP ) の SHA256 によって基づく暗号化を有効にする方法を記述されています。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- 統一された CVP

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- 統一された CVP 10.5、11.0

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 質問

有効にする方法 SHA256 を暗号化を基づかせていたか。

## 回答

- 統一された CVP 11.0 インストール ET に関しては: CVP11.0(1) ET20 - ET - SHA256 有効になること
- 統一された CVP 10.5 インストール ET に関しては: CVP10.5(1) ET18 - ET - SHA256 有効になること